

お知らせ

イベント情報

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントに参加される方は感染症対策へのご協力をお願いします。マスクを着用していない方や、体調がすぐれない方は、イベント参加およびビジターセンター入館をお断りさせていただきます。また、イベントは人数を制限して開催しております。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

両生類の講演会を開催します！

生き物にまつわる講演会を9月・10月・11月と連続して開催しています。野鳥の講演会（9月）と野生動物の講演会（10月）は無事に開催され、参加された方々からは、好評を頂いております。「第二弾も開催してほしい！」という嬉しい声も聞こえてきております。

さて、生き物講演会の最後は「両生類」です。水族館に勤める講師をお招きし、福島県に生息する両生類についてお話いただきます。皆さんも魅力的な両生類の「沼」にハマってしまうこと間違いなしです！

「ふくしまの両生類ばなし」

開催日：2021年11月14日（日）
10:30～12:00（受付10:00～）

講師：永山 駿氏
（アクアマリンいなわしろカワセミ水族館）

参加費：無料
募集数：20名
会場：裏磐梯ビジターセンター
レクチャールーム
申込先：TEL 0241-32-2820（裏磐梯ビジターセンター）

＊新型コロナウイルス拡大状況によって講演会が中止となる場合がございます。

レンタル情報

レンタルグッズ	料金	内訳	
		レンタル代	補償金
長靴	¥500	¥300	¥200
双眼鏡	¥1,500	¥500	¥1,000
クマ鈴 （夏期のみ）	¥1,100	¥100	¥1,000
スノーシュー （冬期のみ・大人）	¥2,500	¥1,500	¥1,000
スノーシュー （冬期のみ・子供）	¥2,000	¥1,000	¥1,000

貸出時間はビジターセンター開館～閉館まで（クマ鈴以外）
クマ鈴の貸出は各施設とも受付15時まで、返却16時まで
補償金は破損・紛失なく返却の際に返金

スノーシューのレンタルが始まります

今年度のクマ鈴レンタルが終了し（夏期限定のレンタル）、冬期限定の「スノーシュー」（西洋かんじき）のレンタルが始まります。レンタル開始は、しっかりと雪が積もってからです。スノーシューは、ふかふかとした雪の上を歩くときに使います。白銀の世界をスノーシューを履いてトレッキングしてみたいはいかがでしょうか。



「メッセージコーナー」より ...

裏磐梯ビジターセンターに寄せられたメッセージの一部を紹介します。
みなさんもビジターセンターにお立ち寄り際には、メッセージを残して下さいね♪
質問には自然解説員が返事を書くことがあるかも！？



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】<http://www.urabandai-vc.jp/>

【入館料】無料 【開館時間】9:00～17:00（4～11月）/ 9:00～16:00（12～3月）

【休館日】毎週火曜日（祝祭日のときはその翌日、年末年始・GW・夏休み期間は無休）



ウェブサイト



Instagram

裏磐梯だより

No. 111

2021年11月



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

裏磐梯図鑑 No.26

秋の七草？それともモンスター？葛（クズ）

自然解説員の巡視日記

西吾妻山登山道

ようこそビジターセンターへ

職場体験を受け入れました！

「中津川渓谷」

西吾妻山に源を発し、秋元湖に注ぐ中津川。その渓谷は裏磐梯を代表する紅葉スポットである。磐梯吾妻レークライン上の中津川橋から手軽に紅葉を楽しめるほか、レストハウスから探勝路を歩けば河原にも降りられる。

秋の七草？それともモンスター？ 葛（クズ）

身近な植物である葛。裏磐梯ビジターセンターの周りでも見ることができます。昔は人々に愛され、利用されてきましたが、現代では厄介者として扱われています。知っているようで知らない葛とは、一体どんな植物なのでしょう？

クズ *Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi subsp. *lobata*

秋の七草

春の七草を知っているひとは多いと思いますが、秋の七草は知っていますでしょうか。秋の七草は、はな萩なでしこ花（ススキ）、おみなえし葛、ふじ撫子、ききょう女郎花、ばかま藤袴、ききょう桔梗です。秋の七草は、春の七草と違って、食べるのではなく見て楽しむものだそうです。

ただし、秋の七草の一部には、食用または生薬として利用されるものがあります。例えば、葛の根は葛切りや葛餅にして食べられたり、葛根は風邪薬として利用されています。今回は、この葛について紹介します。

葛とは

葛はマメ科の植物です。葉は3枚一組から成り、葛の花や果実を見ると、マメ科であることがよくわかります。日本全国に分布するツル性の多年草で、他の植物に巻き付きながら成長していきます。

葛の語源は、かつて大和国（現在の奈良県）にあった「くず国栖」という場所が、葛根の産地だったことに由来すると言われています。かつて葛は、様々に利用されてきました。冒頭で挙げた食用や薬用のほか、繊維をつかった布や、ツルを編んで籠などに利用されていました。クズと聞くと「どうしようもない」という意味のイメージを持っていますが、葛はとても役立つ植物だったのです。

グリーン・モンスター

ところが、葛はしばしば問題にされる植物でもあります。皆さんも生垣や植込みの上に、覆いかぶさるようにはびこる葛を見たことがあるかと思います。葛はやせた土地でも生育でき、成長が早く、ツルを伸ばして他の植物に登っていきます。他の植物に登ることで、より多くの光を浴びて、効率的に光合成を行うことができます。一方で、葛に覆われてしまった植物は、光が当たらず、光合成ができなくなっていまい、最後には枯れてしまいます。

また、葛はとても丈夫で、刈り取ろうが除草剤を撒こうが、なかなか駆除するのが難しい植物です。国外では外来種として大きな問題になっており、特にアメリカでは、駆除のために年間数億円が費やされているほどです。その旺盛な繁殖力と駆除の困難さから「グリーン・モンスター」と呼ばれ、恐れられています。

秋の七草として親しまれてきた葛は、現在では厄介者として扱われることが多くなってしまいました。その背景には、私たちが里山の管理や、身近な植物を利用することやめてしまったこともあるでしょう。現代社会に生きる私たちには、このような厄介者となってしまった生き物たちと、うまく付き合っていくことが求められています。



葛の花（上）と果実（下）



アキグミを覆ってしまった葛（ビジターセンター周辺で撮影）

自然解説員の巡視日記

早稲沢・デコ平探勝路，吾妻川溪流探勝路



「早稲沢・デコ平探勝路」は西大巔の中腹に位置する「デコ平湿原」、名水百選の「百貫清水」、西大巔を源頭とした「布滝」を巡るコースです。グランドデコリゾートのゴンドラを利用すれば、デコ平湿原までは手軽にアクセスできます（ゴンドラ山頂駅からデコ平湿原までは約15分）。百貫清水から先の布滝までは、急な階段を下っていく道になります。道の片側が崩れている場所や沢を渡る場面もあります。雨の日やその翌日は足元に十分注意しましょう。

「吾妻川溪流探勝路」は布滝から続く吾妻川沿いを歩くコースです。高低差はそれほど大きくなく、歩きやすい探勝路です。10月に歩いた際には、カワガラスの姿を見ることができました。また、黄色く色づいたカツラの葉から、甘い香りが漂っていました。

この2つの探勝路はつながっているので、連続して歩くことができます。途中には急な階段や、ぬかるんでいる場所もあるので、トレッキングシューズや登山靴を着用しましょう。また、気温が下がってきたので防寒対策もしっかりしましょう。その他、クマ鈴、雨具、携行食なども準備するようにして下さい。



講演会（上）と写真展（下）

ようこそビジターセンターへ

秋の生き物講演会を開催

Welcome

秋の生き物講演会として、9月・10月・11月と連続して講演会を開催しています。去る9月15日には「野鳥」、10月10日には「野生動物（主に哺乳類）」に関する講演会を開きました。講師はそれぞれ福島市小鳥の森の増淵さん（野鳥）と、北塩原村鳥獣被害対策実施隊の小出さん（野生動物）にお越し、普段聞くことができないお話をして頂きました。参加者の皆さんから好評をいただき、同テーマの第二弾や他のテーマにも期待が寄せられました。また、それぞれのテーマに沿った写真展も同時開催し、生き生きとした生き物たちの写真を楽しんで頂けたようです。

さて、最後となる11月は「両生類」をテーマにした講演会です（11月14日（日）開催）。実際に生きている両生類たちがやってきて、当日の会場はまるで小さな水族館になるかも！？ 概要は裏面の「お知らせ」をご覧ください。なお、定員は20名なので、お申込みはお早めに！